

## 新型コロナウイルス感染症の影響等に関するアンケート調査報告

### ● アンケート対象事業：就労移行支援事業所

依頼事業所数	35
回答事業所数	28
回答率	80.0%

### 1-1 事業所運営の状況

#### (1) コロナウイルスの感染を恐れて通所を控えたという方はいましたか？

いた	事業所数	24
	人数	126
いなかった	事業所数	4

#### (2) コロナウイルスの感染を恐れて移行支援事業所の登録を解除したという方はいましたか？

いた	事業所数	3
	人数	3
いなかった	事業所数	25

#### (3) コロナウイルス感染拡大防止のため在宅訓練を導入しましたか？

導入した	事業所数	20
導入しなかった	事業所数	8

#### (4) コロナウイルス感染拡大防止のため、施設を閉所しましたか？

した	事業所数	3
しなかった	事業所数	25

#### (5) コロナウイルス感染予防のために行った対応がありましたらお聞かせください

- 手洗い、うがい、手指消毒、換気、不要不急の外出などを控える
- マスクの着用（自宅用マスクと仕事用マスクをかえる、マスクが買えなかった方へ布マスクの配布）
- 検温：利用者／スタッフ／来所者、自宅と事業所での検温
- 来所者の記名（連絡先、体温調整等の記入の要請）、来客者へのお茶出しを中止
- 体調確認：体調管理チェックシート確認
- パーテーションやシートで共用部（テーブル、相談室）の仕切り
- 事業所内の消毒：共用部（テーブル、ドアノブ、トイレ、蛇口、戸棚等）、備品、除菌スプレーを使った入退室時の除菌、ペーパータオルの活用、自動センサー付手指消毒装置の設置
- 感染予防対策に向けた文書の配布と掲示
- ソーシャルディスタンス：分散しての休憩・食事、間隔を空ける、互い違いの席割
- もともと在宅訓練を提供できる体制ではあったため、コロナウイルス感染が心配な利用者を対象に在宅訓練を行った。
- 活動内容の変更：
  - ・ 感染予防の講座／ハンカチマスク作成講座
  - ・ 施設内訓練用での作業訓練の受託内容を増やす
  - ・ オンラインによる講座、プログラム、面談、テレワークの導入
  - ・ 在宅支援用PCの貸し出し
  - ・ 余暇支援での調理プログラム、外部講師によるプログラムの中止、密になるプログラムの自粛
  - ・ 面談実施時は時間短縮（30分以内）を厳守
  - ・ コロナ対策の取り組みに対してのアンケートの実施
  - ・ オンライン会社説明会の開催
  - ・ 新型コロナウイルス感染に関しての不安感の聞き取り
  - ・ 施設外訓練、企業見学、外部会議、職場体験実習等、外部との接触機会の自粛
- 利用時間
  - 訓練時間の変更（半日利用、時差通所、短縮等）
  - 公共交通機関が混雑する時間帯を避けるための通所・退所時間の変更。

## 1-2 企業対応の状況

### ・職場訪問

企業からの申し出により中止・延期になった	事業所数	14
自粛した	事業所数	11
変わらない	事業所数	1
増えた	事業所数	0
その他	事業所数	6
行う予定がなかった		3
オンラインで実施		1
時期により自粛した期間も発生しました		1
メール、TEL方法の変更		1

### ・見学, 実習

企業からの申し出により中止・延期になった	事業所数	16
自粛した	事業所数	10
変わらない	事業所数	3
増えた	事業所数	0
その他	事業所数	2
行う予定がなかった		
リモート見学		

### ・面接試験

取り消しになった	事業所数	0
延期になった	事業所数	5
	件数	3
	(未記入)	3
利用者が辞退した	事業所数	0
その他	事業所数	14
行う予定がなかった		6
実施ができた		3
リモート（電話、オンライン）で実施した		3
未記入		2

### ・採用

取り消しになった	事業所数	1
	件数	1
延期になった	事業所数	1
	件数	1
利用者が辞退した	事業所数	0
その他	事業所数	10
予定がなかった		7
予定通り採用になった		1
未記入		2

### 1-3 就労した利用者\*の状況

雇い止めになった	事業所数	2
	件数	2
在宅勤務になった	事業所数	11
	件数	31
企業訪問・面談によるフォローアップができなくなった	事業所数	9
	件数	52
本人からの申し出で退職した	事業所数	1
	件数	1
本人から退職の相談があった	事業所数	2
	件数	2
本人が体調を崩した	事業所数	5
	件数	8
その他	事業所数	6
勤務日数が減った		1
待遇に変化はなかった		3
電話での相談に切り替えた		1
休業要請により自宅待機になった（雇用調整助成金対象）		1

#### その他にどのような影響がありましたか（自由記述）

- ハローワーク活動の頻度の低下。
- 事務系の職種はコンスタントに求人が出ているが、その他の職種、特にサービスや飲食系の求人数が少なく、希望している方の就職活動が進みにくい。
- トレーニングとして行っていた、調理や運動系のプログラムの自粛。
- 利用を検討されている方がコロナを理由に体験や利用を延期された。
- 見学や実習を断られたことにより、利用者のモチベーションが下がった。
- 復帰された方の業界的にコロナの影響で繁忙期が例年よりもずれた方はいらっしゃいました。
- 企業側の都合で勤務調整があった（勤務時間や日数が減ってしまった）。
- 企業に直接問い合わせると、「普段は実習や見学を行っているが、コロナの影響で受け入れができない」と回答したところが多かった。
- 見通しが立たない自宅待機により雇用継続の不安を訴える方が多かった。
- 業績悪化による解雇への不安。
- 在宅勤務による腰痛や精神的不調、生活リズムの乱れ、外出できないことへのストレス。
- 幸いフォローアップへの影響はありませんでしたが、世の中の流れに合わせてオンラインでの定着面談を行うケースがありました（本人希望で企業も快く了承してくれました）。
- 在宅就労の求人が少しずつ増えてきたように感じる。
- 就労した利用者が介護施設の清掃だったため、外出先の報告や消毒などの指導がこまかくマニュアル化されたりして一部生活に制限を受けていたが、就労者は状況を理解して対応し就労を続けている。
- 電話でのフォローになった。直接面会する機会がなくなってしまい、人によっては不安がある方もいた。
- 毎月2回訪問している企業実習が6月まで全く出来なかった。月に一度のレクレーションも事業所内で行う事となり、コロナ自体への恐怖と相まって利用者の活動範囲が極端に狭まり、体調を崩したり気分が滅入ってしまう利用者が多く出た。

## 2 他事業所との情報交換の状況

情報交換している	事業所数	16
情報交換をしたいができていない	事業所数	9
必要ないのでしていない	事業所数	0
検討中	事業所数	2

### ⇒他事業所と情報交換した・したい内容（複数回答可）

コロナウイルスの影響・対応について	事業所数	16
新規利用者の確保について	事業所数	11
支援者の育成について	事業所数	4
訓練内容・支援方法について	事業所数	16
企業の情報について	事業所数	13
定着支援について	事業所数	7
その他	事業所数	1
コロナ関係で使える支援制度や申請方法、オンラインの活用方法		

### 情報交換会のテーマなどについて、ご意見やご要望がありましたらお書きください（自由記述）

- 7/21に5事業所がmanabyワークスさんに集まって合同説明会を実施しました。
- どこかでお会いした際にはコロナの影響や事業所運営の仕方等情報交換をしました。
- 障害福祉サービス等報酬改定、障害者雇用施策の現状の把握と要望していきたいこと等について。
- コロナ禍のなかで移行支援事業所が抱えている課題や問題点。
- 各事業所で行っているコロナ対策や、各事業所の現在の利用者様の増減などの状況。
- コロナ禍における今後の各事業所の方向性や予定などについて。
- コロナ禍の中、支援方法やプログラム内容において各事業所での工夫や取り組みについて。
- コロナ禍以降の企業の求人状況と利用者の就職活動。
- 今の状況では無理なのでは？
- 実習の受け入れが少ない中、どのように企業と繋がり、利用者に適職や能力を把握していただくかが知りたい。  
ハローワークの障害者枠の求人票の採用担当に問い合わせして実習の受け入れ情報を確認したりしているが、それでも実習の受け入れをしている企業が少ない。
- 当事業所は開設しようやく2年が経過しましたが、まだまだ試行錯誤の段階です。長く運営されている事業所様とは悩みの共通点や差異があるかと思いますが、それらの比較や改善事例をご教授いただければありがたいです。
- 役所からの提出書類や必要な情報などは一方的に来るが他の事業所がどのような対応をしているのかを知りたい。

## 3 コロナウイルス対策のために活用したいと考えているセンターの事業があればお聞かせください

他事業所との情報交換の場の提供	事業所数	13
企業との情報交換の場の提供	事業所数	20
非公開求人の共有	事業所数	16
マッチングに向けての共同支援	事業所数	12
困難事例の共同支援	事業所数	4
市の施設への体験実習	事業所数	17
利用者向け講座	事業所数	10
支援者向け講座	事業所数	7
その他	事業所数	0

コロナウイルスの影響を踏まえ、より活用しやすい事業にしていくために、センターの事業に対する皆様のご意見やご要望をお聞かせください（自由記述）

- 現在の利用者及び今後の利用者の就職希望が停滞しないように、情報共有させてもらいながら進めていきたいと  
思います。
- 他事業所のアンケート結果や現状について情報共有。
- 個別対応希望（企業情報の共有、見学・体験、相互理解の為のプログラム等）。
- 企業見学会の際、手帳所持を必須条件から外すなど手帳取得に踏み切れない方へも見学の機会をいただきたいで  
す。
- オンライン企業説明会や就労に関する情報提供。
- 新型コロナウイルスの影響によって、企業の採用状況も大きく変動していると思いますが、企業さんからの生の  
声（採用に関する困り感や、雇用している当事者の変化等）を聞いてみたいです。今回のことで世間が大きく揺  
れ動いた中、働き方も様々になってきたなかで、就労移行支援が担う役割も時代や世に左右されることを大きく  
痛感しました。その中で企業さんがどのような困り感を抱いているかによって、私たちにできるアプローチの幅  
が広がっていただけると幸いです。
- Zoomとかは使えませんので、今は無理と思います。
- 思ったような就活が出来ない方が多く、移行の期間が終了してからの方の相談をお願いしたいと思っておりま  
す。
- オンラインによる研修や講座等により、支援者も利用者も自身のスキルアップを図ることができたり、必要な情  
報が得ることができればと思います。
- オンラインを活用した、研修や企業説明会の機会などを希望。
- コロナウイルス影響による利用者確保のフォローや助成など。
- コロナの状況もあり企業見学や実習の機会がコロナ以前に比べ少なくなっていると感じます。こういった状況が  
当面続くと予想されますので、企業との交流の機会があるとよいのではないかと感じています。
- 昨年実施されていたような研修会が、オンラインで開催することができるとよいかもしれません。各事業所や公  
的機関も含めて対策について（主にコロナウイルス対応）考えていけると良いのではと考えます。
- 感染対策をHP上や施設の入り口に貼りだすなどして外部の方にもわかるようにすること。また、外部方へのマス  
クや消毒を依頼すること。
- 在宅就労先の開拓をお願いしたいです。
- 当面、一堂に会しての研修や会合は不可能と思いますが、Zoom等を活用した取り組みが有ればと思います。

#### 4 その他、ご意見やご要望がありましたらご自由にお書きください。

- 仙台市の障害者手帳所持者数に対する就労移行支援事業所の数が多いと感じます。
  - ①仙台市に必要な（適正な事業所数）数を把握する、
  - ②支援者に研修受講の基準や必要なスキル等を設定する。等工夫し、どの事業所を使っても適切な支援を提供できるようにしていくことが必要と感じます。
- もし、実習等に行き、コロナに感染したらだれが責任を取るのか教えてください。恐怖です、そこからクラ  
スターになったらどうしますか？
- 受給者証の発行で行政の方ともやりとりが発生することがありますが、主に電話で数分間、要件のみになっ  
てしまうことが多いので、就労移行を利用する方のニーズなども共有できる交流会のようなものと連携がさら  
に取りやすくなるのではと考えました。
- いつも求人の紹介や、支援のサポートして下さりありがとうございます。